

OJT推進テーマ 基礎形成期にある若手教員の育成 ～若手教員授業力向上研修会を中心に～

1 OJT推進の背景とねらい

(1) 背景

- ◇ 本校は、毎年、新規採用教員を配属され、教員生活の初任校となる教員が多く在籍している。
- ◇ 平成22年度より、校内で授業力向上研修を中心に、若手教員育成の研修を行っている。
- ◇ 教育活動全般にわたって、校内研修をOJTガイドラインに即して若手研修を拡充する。

(2) ねらい

学習指導力の向上を主に生活指導力・進路指導力、外部との連携・折衝力、学校運営力・組織貢献力を身につけさせる。

【具体的なOJTの方向性】

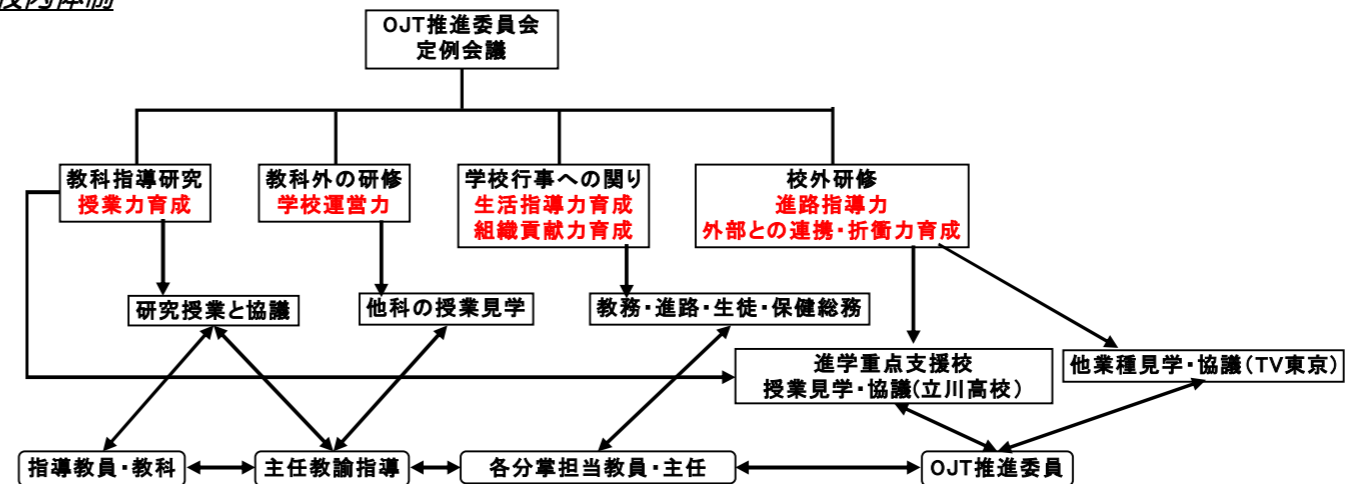
- ◇ 初年度から4年次までの基礎形成期にある若手教員の育成を対象の中心とした、若手教員授業力向上研修会を中心として、主幹教諭、主任教諭を指導教員とした学習指導力の向上を主に、生活指導力・進路指導力、外部との連携・折衝力、学校運営力・組織貢献力を校内の組織的取組によるOJTにより身につける。

2 OJT推進の方法

(1) OJT推進委員会を設置

- ◇ 副校長、主幹教諭1名
- ◇ 既存の「若手研修会」をOJTの対象者として位置づけ、副校長、主幹教諭、1年次から4年次まで7名で、月に1回以上、定例の会議を開催し、研修計画を練るとともに、OJTを実施した。

(2) 校内体制



3 OJT推進の実践成果

☆OJT推進指定校モデル校委員会

- ◇ 5月より、毎月1回OJT推進指定校モデル校委員会（若手研修会）を開催。

- ・今年度の授業研究の主題（「興味・関心」を高める授業のための研究）を設定。
- ・進行管理および実施状況の確認。

◇ 授業力向上

- ・研究授業の実施および協議会（6月、11月、2月）。
- ・授業見学と協議。（10、11月、1、2月）主任教諭（特定の3名）の授業を毎週1回（1週間に1教科を3週を2サイクル）見学し、その後指導を受ける。
- ・他校見学会とその後の協議。（11月）進学重点支援校（立川高校）。

◇ 進路指導力、外部との連携・折衝力の育成

- ・他業種見学とその後の協議。（TV東京ホールディングス）。
- ※（「職業的自立に向けた教育プログラム『企業・NPO等と連携した都立高校生の“社会的・職業的自立”支援事業』」の研究・体験として実施）。

◇ 学校運営力・組織貢献力・生活指導力の育成

- ・学校見学会・学校説明会におけるサポート。（各回）
- ・校内スクールカウンセラー研修への参加。
- ・入学選抜の面接の方法・評価方法の練習。

◇ 外部との連携・折衝力の育成

- ・副校長の指導のもと行うことにより研究紀要の作成を主体的に行う。

4 まとめと課題

まとめ(成果と課題)

(1) 成果

- ◇ 『若手教員育成』を主題とし、OJTの視点から実践的な取り組みを行った。特に、授業力を高めるために、授業研究のみでなく、他教科の主任教諭の授業参観を継続的に行ったことにより、効果が上がった。

(2) まとめ

- ◇ 自らの授業を見直し、課題を見つけ、修正していく力を育成できた。
- ◇ 学校という組織中の一員として、社会性や協調性が育成できた。
- ◇ 外部との連携をすることにより、進路指導力の育成ができた。

(3) 課題

- ◇ より一層の授業力の向上に向け、継続的な研究。
- ◇ 自己を取り巻く社会に対しての、責任感と理解および協力する態度を高める。